

公表

## 児童発達支援事業所における自己評価結果

事業所名	スポーツひろばブレイス府中教室		公表日		年 月 日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	1	法令を遵守しています。活動場所と遊バスペースを分けており、活動に内容によっては場所を変更し支障がないようにしています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	2	法令の配置数に加えて、常勤換算で児童指導員等を1名以上配置しています。予約の際に対応できる人員の範囲で調整している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	2	事業所は1階にありますが、入り口に段差がある為、必要に応じて対応しております。保護者様にはお声がけしています。	入口が滑りやすいため、滑り止めマットの設置を検討しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	2	トイレは経年劣化によって臭いが気になると意見をいただきました。現在、修繕工事を検討しています。	活動スペースの壁紙も検討していきます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	2	カーテンやパーテーションですぐに囲い個別の空間を提供することができます。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	1	すべての職員が参画し、定期的にミーティングを行い目標の共有や検証、振り返りを行っています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1	年に1回程度アンケートを実施し、全職員で現状や課題の把握、業務改善につなげています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	事前ミーティングや営業後のミーティング中や勤務中に意見を把握する機会を作っています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	3	第三者評価は現在実施していませんが、実施している他事業所と情報交換を行うなどしながら検討しています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	2	1ヶ月の初任者研修を行っています。また年間計画を立て、定期的に研修・授業研究を行ったり外部研修に参加したりしています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	入会前の面談でも説明し、ホームページにも記載されています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	1	保護者との情報共有の基に計画を作成しています。発達検査の結果などを提出してもらい、分析に役立てています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	サービス提供記録や日頃のフィードバックの職員の意見を基に作成を行っています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	1	計画を基に利用日のミーティングを立てています。また、どの指導員でも計画をいつでも確認できるように保管しています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	1	入職時に必ず全員に研修を行っています。そのためインフォーマルな観点は研修の中で共有しています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	1	今年度より5領域を全利用者の支援内容に取り入れて計画を作成しています。その中で、本人支援を中心に作成しており、家族支援、移行支援、地域支援・地域連携などは家族の意向や年齢などに合わせて設定していきます。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	1	ミーティングなどを含めて担当者によりプログラムの立案をしています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	毎年前年度の結果をもとに修正し、プログラムの変更や修正をしています。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	個別の活動から少人数での活動、集団での活動ができるようにしており、移行時期や目的など計画して支援を行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	支援開始前には必ず打ち合わせを行っています。その日の支援内容や役割分担、利用者の情報を共有し支援を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	1	支援終了後に必ずその日のフィードバックを行い、課題や次回の対応方法の検討を共有しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	毎日必ず全員分の記録をとり、次回の支援につなげるよう努めています。月、半年、年間などの振り返りも行っていきます。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	1	半年に1回以上モニタリングを行い、支援計画の見直しをしています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	1	4つの基本活動のうち、活動の中で「自立支援と日常生活の充実のための活動」「創作活動」「余暇の提供」を取り入れています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	2	活動の中で脳機能の向上を目的としたトレーニングを行い、更に学習や運動の活動の中で選択や判断する力を育てている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	3	児童の状況に精通した職員が必ず参画しています。また、事業所内でも会議を行い情報共有をしています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	3	他事業所・学校の担任の先生から支援会議の要請があれば必ず参加している。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外務研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	1	6	協議会等へ参加しています。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	5	事業所での様子を降所時やお電話等で適宜お伝えし、必要や要望があれば見学や面談も行っていきます。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	登所・降所の際に、情報共有を行い、必要に応じて困り感に寄り添った対応を行っています。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	5	現在は行っておませんが、希望によっては今後実施を検討していきます。個別では助言等を行っております。		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	初回面談時に説明を行っています。常に掲示し、必要に応じて説明を行います。変更があった際には変更内容を交付しています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	個別支援計画の更新月である半年に1回、ご要望を確認するようにしています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	1	面談やLINEなどで相談に応じたり、活動の様子をお伝えしながら助言を行ったりしています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	1	面談やLINEなどで相談に応じたり、活動の様子をお伝えしながら助言を行ったりしています。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	7	現在は保護者会等は行っていませんが、希望調査を行うなどして、必要に応じて検討していきます。	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	苦情窓口を設け、周知しています。苦情があった場合は苦情解決の流れに沿って迅速に対応します。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7	0	月に1回活動の内容について会報を発行し、保護者に交付しています。予約についての連絡の際に共有事項を記載しています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	個人情報は鍵付き書庫に保管しています。また、職員に定期的に注意喚起し十分注意しています。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	随時、伝わりやすい方法で行っています。必要に応じて、書面やLINEでのやり取りをしていきます。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	6	保護者の要望等に配慮し、現在招待等は行っていません。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	1	マニュアルを策定し、指導員間で研修を行っています。保護者様もご確認ができるように準備を進めております。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	1	現在BCPを作成しています。年に2回、火災・地震を想定した避難訓練を実施しています。昨年度は5月と2月に実施しました。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6	1	契約開始時の面談や事前調査書の項目の中に服薬等の子どもの状況を確認する欄があり、必要に応じて記載していただいています。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	2	アレルギーの有無を把握し、アレルギーのある児童については家庭と連携し対応しています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	1	安全計画を作成しています。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0	配布物を通して、ご家族の方々に周知しております。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	ヒヤリハット事例集を作成して共有し、事故防止に努めています。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	1	計画を立て、定期的に研修を行っています。		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	1	ご契約時に説明し、必要に応じて面談を行い個別支援計画等にも記載しています。		